

ハザードマップで自宅や地域の水害リスクを知る

ハザードマップには、自然災害による被害とその範囲を予測した地図のほか、学習情報やマイ・タイムラインを掲載しています。危機管理防災課、各図書館、各市民活動センターで配布しています。配布は1世帯につき1冊です。市HPからダウンロードすることもできます。



避難先、避難経路を検討

浸水の中を避難するのは危険です。台風の接近や大雨が予測される場合には、早めの避難を心掛けましょう。また、安全に避難するためにはどの道を通ってどこへ避難すればよいか、ハザードマップを確認し事前に検討しておきましょう。

早めの避難先 たとえばこんなところへ…

○親戚・知人宅、車中避難

感染症予防の観点から親戚・知人宅への避難や緊急的な避難であれば車中避難も考えましょう。

○指定緊急避難場所や指定避難所

指定緊急避難場所や指定避難所等に避難する際は、市HPや市いんふおメールなどで開設状況を確認しましょう。

避難施設一覧はハザードマップ11ページに掲載しています。

○警戒レベル・避難情報等

災害のおそれが高まり避難が必要な状況となった際には、警戒レベルごとに次の避難情報が発令されます。

警戒レベル	状況	避難情報等	とるべき行動
1	今後の気象状況悪化のおそれ	早期注意情報	災害への心構えを高める
2	気象状況悪化	大雨・洪水注意報など	自らの避難行動を確認
3	災害のおそれあり	高齢者等避難	危険な場所から高齢者等は避難
4	災害のおそれ高い	避難指示	危険な場所から全員避難
警戒レベル4までに必ず危険な場所から避難してください!			
5	災害発生又は切迫	緊急安全確保	命の危険、直ちに安全確保

避難先で気をつけること(新型コロナウイルス感染症への対策)

台風の接近や大雨が予測される場合には、命を守る行動を取ることが最優先です。新型コロナウイルス感染症が終息していなくても躊躇なく避難してください。避難先では、新型コロナウイルスの感染リスクが高まらないように「3つの密」(密閉、密集、密接)を避け、ご自身の健康管理をしっかり行いましょう。

○発熱、咳などの症状が出た人、体調が優れない人は、速やかに避難所スタッフに申し出ましょう。

○人と人との間隔をできる限り広く確保できるよう、ご協力をお願いします。

○手洗い等の基本的な感染対策をしっかり行い、感染リスクを抑えましょう。

非常時の持ち出し品を事前に準備

すぐに避難できるように最低限必要なものを非常持ち出し袋に準備しておきましょう。非常持ち出し袋は、両手が空くリュックサックが便利です。感染症対策のためマスク、体温計、消毒液なども、できる限り避難先へ持参できるように準備しておきましょう(ハザードマップ34ページ参照)。

はじめに

初夏から秋にかけては、台風や前線の影響で、大雨、洪水、暴風による自然災害が発生しやすい季節です。自分の命を守るため、災害を知ることは大切です。

今回は、令和元年東日本台風で被害を受けた、千代田美紀さんの経験と現在の活動を紹介します。

千代田美紀さん

台風後に早俣地区をまわって支援物資を届けるなど地域をサポートする活動を始め、現在は「てとて(手と手)」を立ち上げて災害の経験、人・地域のつながりの大切さを伝える活動をしています。

Q. 当時の状況やお気持ちを教えてください。

A. 当日は高坂の主人の実家に避難しました。翌朝に見た自宅は1階の天井近くまで浸水していました。自宅が浸水することをまったく想像していなかったため、直後は被害の大きさに理解が追いつきませんでした。翌日から友人と一緒に家の片付けを始め土のう袋やゴミ袋を購入し、昼や家財は軽トラックで搬出しました。昨日まで大切にしていた物がたった一晩でダメになってしまい複雑な心境でした。水害の知識があまりなく、軽装で作業して体に湿疹ができたこともありました。避難所で土のう袋やブルーシートを配布していたことを後で知るなど、災害時に情報を得る難しさを感じました。

手探りで始めた自宅の片付けや生活再建のための経済的負担、この場所に住み続けることへの迷いなどいろいろな不安があり、肉体的にも精神的にも限界をむかえ、ボランティアをお願いすることにしました。ボランティアの方々いろいろな話をして、少しずつ気持ちが前向きになっていきました。この先やってみたくことや、未来の話をできたことが、生活の再建に向けた大きな原動力になったと思います。いつかは自宅にカフェを作り、お世話になった方々を招いて恩返しをしたい夢があります。



直後

台風後の千代田さんの自宅(千代田さん提供)



家財搬出後

Q. 台風のあと地域の方をサポートされていたが何かきっかけはあったのですか？

A. 避難所で、地区のお年寄りに会った際に、高齢の方はどのように支援の情報を得ているのだろうか？と感じました。私たちの世代も情報を得るのに苦労していたので…。地域をまわってみるとまだ支援が必要な方がいることに気がつきました。被災前は地域の方との交流がほとんどありませんでしたが、ボランティア団体が提供している衣類や支援物資を地域の高齢世帯に届けたり、ボランティアの申込みをお手伝いしたりしました。そうしたことを続けるうちに地域の方からも声をかけてもらえるようになりました。

Q. ご自身の経験から災害への備えとして市民に伝えたいことや「てとて」の活動について教えてください。

A. 地域のつながりを大切にしたいです。市役所の人とも何度も顔を合わせてつながりができました。日頃から顔の見える地域にすることが災害への備えになると台風19号を経験して実感しました。今では、早俣でお茶のみ会を開催したりしています。炊き出しなどの支援をいただいた東松島市のおおい地区の住民の方とも、互いの災害の経験を話したり、農産物を贈りあうなど交流が続いています。市民の方でも、被害の状況を知らない方が多くいますので、被災当時の状況や人や地域のつながりの大切さを伝える活動をしていきたいです。また、重労働だけでなく、年配の方への傾聴や写真の洗浄など女性や子供でもできるボランティア作業がたくさんあるということも伝えられればいいと思っています。



東松島市あおい地区の方々と千代田さん
写真中央が千代田さん(千代田さん提供)

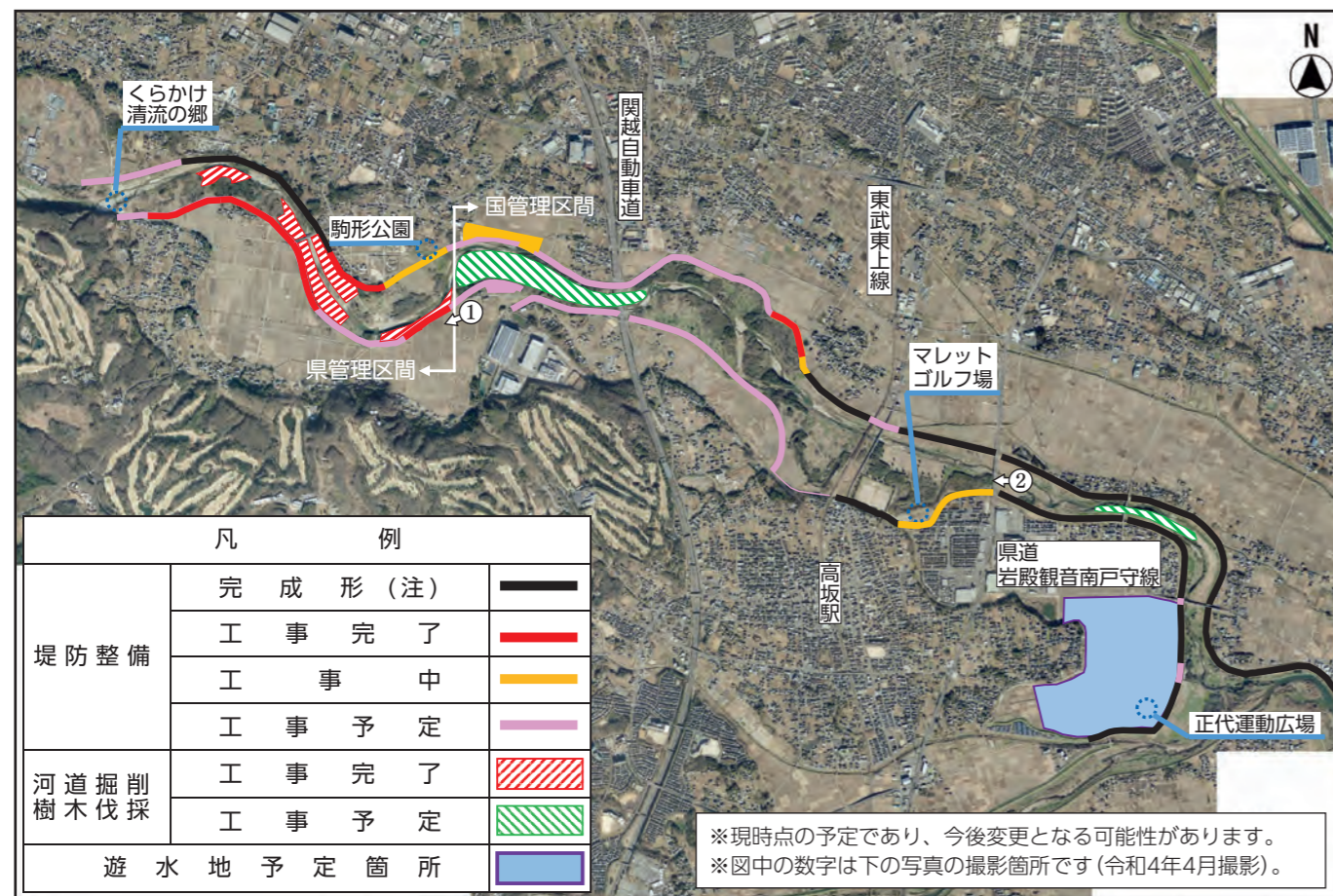
一級河川都幾川の河川改修を進めています

一級河川都幾川では、管理者の国、県が河川改修を進めています。

主な整備内容は、大雨時の川の水位を低くするための河道掘削や樹木伐採、また、大雨により川から水があふれないようにするための堤防整備を進めており、令和6年度までに完了する予定です。

また、大雨時に川の水を一時的に溜めることで、川の水位を低下させる効果がある遊水地を計画しており、早期の完成を目指しています。なお、今年度は用地測量等を実施する予定です。

今後も引き続き、地域の浸水被害の軽減のため、河川改修へのご理解、ご協力をお願いいたします。



(注)完成形……既に必要な堤防等の高さが確保されています。

工事の進捗状況



①都幾川右岸
下唐子地区



②都幾川右岸
あずま町地区



※荒川上流河川事務所(一部修正)

5ページに関する問合せ 河川課 ☎21-1426 ☎24-8857

防災に対する取組

防災行政無線放送の放送塔増設

避難情報は防災行政無線から放送します。防災行政無線放送が聞こえづらい地域には、屋外拡声子局(放送塔)の整備やスピーカーの増設を行いました。

戸別受信機の無償貸与

防災行政無線の放送内容を自動で受信することのできる「戸別受信機」を無償で貸与しています(大きさ：縦150mm×横220mm×幅75mm)。

※貸与は、1世帯に1台です。

※戸別受信機は、危機管理防災課で受領書を記入後、その場でお渡ししています。

※在庫がなくなり次第、終了となります。

※ラジオの機能はありません。



戸別受信機

非常用発電設備用燃料タンクの整備

防災拠点施設である市本庁舎及び総合会館に設置している非常用発電設備の連続稼働時間を延長するため、燃料貯蔵タンクを整備しました。地域防災計画で目標としている3日間分を確保しています。



総合会館非常用発電設備用燃料タンク

防災に関する計画の策定等

東松山市地域防災計画

災害対策基本法の改正及び防災基本計画の修正、埼玉県地域防災計画の修正をはじめ、令和元年東日本台風での災害対応や、新型コロナウイルス感染症への対応などを踏まえ、東松山市地域防災計画を令和4年3月に修正しました。

主な修正点は、警戒レベルととるべき行動の理解促進、長期停電・通信障害への対応強化、避難所における新型コロナウイルス感染症対策などです。

東松山市国土強靱化地域計画

大規模自然災害等に備えるため、事前防災・減災と迅速な復旧復興に資する施策を総合的な取組として計画的に実施し、強靱な地域づくりを推進するために、令和4年3月に策定しました。

東松山市国民保護計画

武力攻撃事態等から市民の生命、身体、財産を保護するための計画を令和4年1月に変更しました。

東松山市業務継続計画・受援計画

災害時に資源(人、物、情報など)が制約を受けた場合でも、一定の業務を的確に行えるよう、東松山市業務継続計画を見直すとともに、受援の仕組みを構築するため、東松山市業務継続計画・受援計画を令和4年3月に策定しました。

情報収集手段の確認

避難情報

防災行政無線(戸別受信機)

防災行政無線テレホンサービス

(☎22-5011/22-5013)※通話料がかかります。

東松山いんふおメール(防災行政無線情報、防災・気象情報など)



いんふおメール登録

気象情報



熊谷地方気象台

河川情報



埼玉県川の防災情報



国土交通省川の防災情報

2~4ページに関する問合せ 危機管理防災課 ☎21-1405 ☎22-7799